

選択性茎葉処理型除草剤



ワンサイドP[®] 乳剤

®は登録商標

特長1 優れた作物選択性！

イネ科以外の作物には影響がありません。

特長2 素早い吸収で優れた耐雨性！

雑草茎葉部から速やかに植物内へ取り込まれるので、薬液が乾けば降雨の心配はありません。

特長3 根までしっかり枯らす！

除草効果の発現は比較的緩やかですが、植物体内で有効成分は速やかに成長点及び分裂組織へ移行します。処理1週間後には新葉の退色、赤色化が見られ、根までしっかり枯れていきます。だから、散布翌日のカルチ作業(すき込み)もOK！

イネ科雑草
10葉期まで
(大豆)



特長4 大型イネ科雑草もお任せ！

ススキ、チガヤのほか外来雑草ジョンソングラス(セイバンモロコシ)もしっかり枯らします。

イネ科雑草を防除する。確かな選択で応える。

ワンサイドP乳剤で効果のある主な雑草



ヒエ



メヒシバ



エノコログサ



シバムギ



チガヤ

適用雑草と使用方法

* 本剤およびフルアジホップPを含む農薬の総使用回数

作物名/適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		総使用回数*	使用方法	
			薬量(mL)	希釈水量(L)			
だいず	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く) シバムギ、レッドトップ	イネ科雑草8~10葉期	収穫60日前まで	100	100	雑草茎葉散布 又は 全面散布	
		イネ科雑草5~8葉期					
		イネ科雑草3~5葉期					
えだまめ		イネ科雑草5~8葉期	収穫30日前まで	100	通常散布 50~100 少量散布 25~50		
あずき		イネ科雑草3~5葉期	収穫60日前まで	75~100			
いんげんまめ		イネ科雑草3~5葉期	収穫45日前まで	75~100			
にんじん		イネ科雑草3~5葉期	収穫30日前まで	50~100	70~100		1回
だいごん			収穫45日前まで				
てんさい			イネ科雑草3~8葉期	収穫90日前まで			
たまねぎ		イネ科雑草3~5葉期	収穫30日前まで	50~100	70~100		雑草茎葉散布
いちご(親株床)			収穫後~定植まで				
トマト			収穫21日前まで				
かんしょ	イネ科雑草3~8葉期	収穫60日前まで	50~75	75~100	雑草茎葉散布 又は 全面散布		
ばれいしょ		収穫前日まで					
キャベツ		収穫30日前まで					
アスパラガス	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	収穫前日まで	50~100	70~100	2回以内		
やまのいも		収穫30日前まで					
にんにく		収穫21日前まで	100	1回			
ブロッコリー		収穫30日前まで					
せんきゅう		収穫90日前まで					
かんきつ	春季~夏季 草丈20cm以下	収穫120日前まで	200~300	雑草茎葉散布			
	チガヤ、ススキ等の 多年生イネ科雑草	春季~夏季 草丈30cm以下	300~500				
水田作物(水田畦畔)/ 水田畦畔	一年生イネ科雑草 キシウスズメノヒエ	草丈30cm以下	収穫120日前まで	200~400			
いぐさ	水田一年生イネ科雑草	落水後	イネ科雑草3~5葉期	100~200	100~150	雑草茎葉散布 又は全面散布(落水)	
日本芝	ベントグラス	芝休眠期		150		散布	
桑	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く) シバムギ、レッドトップ	イネ科雑草3~5葉期		75~100	2回以内	雑草茎葉散布	
つつじ類・つばき類 とちのき・さくら まつ・しゃりんばい		草丈20cm以下		100~200			
樹木等/ 公園・庭園・堤とう 駐車場・道路・運動場 宅地・のり面等	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	草丈20cm以下		150~300	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布	
	多年生イネ科雑草	草丈30cm以下		400~600			

上手な使い方

- 適期処理により、十分な効果を発揮させましょう。**
 一年生イネ科雑草を防除する場合、雑草葉齢が3~5葉期に散布すると最も高い効果を発揮します。また、多年生イネ科雑草を防除するときは、草丈を指標とし、適期に散布してください。激しい降雨が予想される場合は、使用をさけてください。
- 他剤との組合せ等で上手に除草しましょう。**
 本剤は、イネ科雑草が優占する場面で使用することをお勧めします。広葉雑草やカヤツリグサ科雑草を同時に防除するには、これらの雑草に有効な除草剤との組合せで使用してください。
- 効果を十分に見とどけましょう。**
 散布後完全枯死までには、約3週間程度かかる場合がありますので、誤ってまき直すことのないよう注意してください。
- 展着剤の加用について。**
 畑地での一年生イネ科雑草の防除には特に展着剤を加用する必要はありません。多年生イネ科雑草の繁茂する場合や緑地管理分野では、展着剤を加用すると除草効果がより安定します。

⚠ 使用上の注意事項 (抜粋)

- 周辺の有用植物に対して注意を払いましょう。**
 本剤の散布液がイネ科作物にかかると薬害を生じやすいので、周辺にイネ科作物がある場合、薬液が飛散しないように十分注意してください。
- だいごんの間引き菜、つまみ菜には使用しないでください。
- 日本芝に使用する場合、芝の生育期には使用しないでください。(薬害)
 寒地型西洋芝には微量で薬害を生じるので飛散・流出しないよう注意してください。
- だいずでイネ科雑草の8~10葉期に使用する場合は、雑草の草丈が30cm以下で使用してください。
- 少量散布(25~50ℓ)の場合は専用ノズルを使用してください。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないように均一に散布してください。
- 散布の際は自動車やカーポートの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川などに流さないでください。また、空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。

本印刷物は、2023年2月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

ホームページの
製品情報へ



取り扱い